

令和7年度 第2回岩手支部評議会 議事概要報告

開 催 日 令和7年10月23日(木) 15:00～17:00
(朝日生命盛岡中央通ビル2階 B会議室)

出 席 者 大澤評議員 熊谷評議員 佐藤評議員
菅原評議員 田口評議員 宮寺評議員 宗形評議員

(五十音順)

議 題

- ・議題1 令和8年度 平均保険料率について
- ・議題2 令和8年度 事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取について
- ・議題3 協会けんぽDXについて(電子申請・けんぽアプリ)

議 事 概 要

(主な意見等)

支部長挨拶後、各議題について事務局より説明を行い、その後に出席者からの質問・意見等の発言を求めた。発言の内容は以下のとおり。

議題1 令和8年度 平均保険料率について

【事業主代表】

令和6年度の単年度収支は前年度比41パーセント増、金額にして1,930億円増であり、健康保険の安定経営という点では望ましいが、健康保険制度の性格上、単年度での収支均衡が望ましい。準備金残高が繰り越されるとなると、結果的に現在の被保険者・企業が支払った保険料が、次年度以降の加入者・企業に医療費として還元されるのは、保険料を納める企業・従業員としては、不公平感を感じるのではないのか。制度の見直しが必要ではないのか。

<事務局>

ご意見として承る。

【学識経験者】

国債に重点をおいた準備金の運用に懸念はないのか。

<事務局>

準備金の運用方法については、健康保険法に国債等により安全に運用しなければならないと定められている。

議題2 令和8年度 事業計画及び支部保険者機能強化予算策定に向けた意見聴取について

【被保険者代表】

岩手県の課題として脳卒中による死亡率が高いことが挙げられる。面積が広いので搬送中に救命率が下がってしまうと聞いた。今回提示された分析結果は非常に有益であると考え、岩手県と情報共有を図ってほしい。

【学識経験者】

提示されたデータは、病院や県と共有しているのか。

<事務局>

保険者協議会でそれぞれのデータを持ち寄って分析している。今後は、県の担当者とも協議していきたい。

【学識経験者】

震災による子どもの恐怖体験が大人になってうつ病にどう影響するのか。熊本県等も精神疾患が多い傾向にあるが、震災と関連性はあるのか。

<事務局>

佐賀県や熊本県の1人あたり医療費が高いのは、人口10万人あたりの精神病床数が多く、入院日数も長いことが原因として挙げられる。

【学識経験者】

精神科にかかりたくてもかかれない人が多いと聞く。岩手産業保健総合支援センターと連携をしているのであれば、周知を行ってほしい。また、先天性精神疾患の従業員等に対する対応方法の周知も必要であるとする。

<事務局>

今後、より分析を進め、プレスリリース等で周知していく。

【学識経験者】

県民性なども関係してくると思うので、岩手県の県民性を考慮した企画立案が大切であるとする。

議題3 協会けんぽDXについて(電子申請・けんぽアプリ)

【学識経験者】

今まで通り、紙ベースの申請書は残るのか。けんぽアプリの利点は何か。

<事務局>

今まで通り紙での申請も受け付ける。記入漏れなども防ぐことができるので、審査もより迅速に

行うことができ、進捗状況も確認可能になる。また、郵送代などの負担もなくなることが利点と考える。

【学識経験者】

加入者個人に対し、PUSH 型の情報提供は検討されているのか。

<事務局>

現在も、高額療養費・出産育児一時金等では、申請がなかった場合に申請できることをお知らせしている。今後、お知らせできる申請を増やすことができるよう、本部に対して申し入れを行っていく。

【学識経験者】

アプリへの移行時に AI に情報を読み込ませることになると思うが、個人情報保護の観点から問題は無いのか。

<事務局>

あくまで一般的な質問に限り AI に情報を読み込ませるので、個人情報が含まれた質問を AI に読み込ませることはない。

以上